

鹿島灘海浜公園  
拠点化基本構想  
(案)

令和6年5月

## 目 次

|            |                                  |           |
|------------|----------------------------------|-----------|
| <b>序章</b>  | <b>銚田市の位置づけ・魅力・課題</b>            | <b>1</b>  |
| 1.         | 銚田市の位置づけ                         | 1         |
| 2.         | 銚田市の魅力                           | 2         |
| 3.         | 銚田市の課題                           | 2         |
| (1)        | 時勢による課題                          | 2         |
| (2)        | 市特有の課題                           | 3         |
| <b>第1章</b> | <b>鹿島灘海浜公園の背景</b>                | <b>4</b>  |
| 1.         | 課題・目的                            | 4         |
| 2.         | 鹿島灘海浜公園の現状                       | 5         |
| (1)        | 公園の位置づけ                          | 5         |
| (2)        | 公園規模                             | 5         |
| (3)        | 特徴                               | 5         |
| <b>第2章</b> | <b>鹿島灘海浜公園の拠点化整備における経緯及び関連計画</b> | <b>6</b>  |
| 1.         | 経緯                               | 6         |
| 2.         | 関連計画                             | 7         |
| (1)        | 第2次銚田市総合計画（抜粋）                   | 7         |
| (2)        | 銚田市都市計画マスタープラン（抜粋）               | 7         |
| <b>第3章</b> | <b>拠点化事業のコンセプト及び導入機能</b>         | <b>8</b>  |
| 1.         | 基本的な考え方                          | 8         |
| 2.         | コンセプト                            | 10        |
| (1)        | 考えるべき2つの柱                        | 10        |
| (2)        | 目指すべき方向性                         | 10        |
| 3.         | 今後考えるべき導入機能                      | 11        |
|            | コンセプトや利用者アンケートから導かれる必要機能         | 11        |
| <b>第4章</b> | <b>整備方針イメージ</b>                  | <b>12</b> |

## 序章 銚田市の位置付け・魅力・課題

### 1 銚田市の位置付け

銚田市は、2005年に鹿島郡旭村、銚田町、大洋村が合併して誕生しました。

茨城県の中央部、やや南東の太平洋沿いに位置し、南北に約20km続く海岸線を有しています。

東京からは直線距離で80～90km程ですが、高速道路のICもあり、鹿島臨海鉄道からのアクセスも容易となります。

また、車での移動には千葉県と水戸市を結ぶ、国道51号が市内を南北に貫いており、石岡市や土浦市方面からは国道354号や355号が通じており、車での周辺地域との移動については利便性が高い状況です。

2010年に開港した茨城空港からも近く、アジア各国のインバウンド需要についても条件が整いつつあります。

銚田市周辺の地形の特徴としては、平坦な台地であり、太平洋と北浦に囲まれた肥沃な土地が広がっています。

また、市内には巴川・銚田川・長茂川・大谷川という4本の河川があり、更に涸沼や北浦にも接するなど、豊かな水源に恵まれています。

主要産業としては、その恵まれた環境を生かした農業が盛んで、野菜の生産に関しては日本一の農業産出額を誇ります。中でもメロンに関しては平成10年から現在まで生産量日本一であり、トップブランドとしての地位を確立しています。

その他にも、イチゴやサツマイモ、水菜、ごぼう、トマトなど、様々な農産物が全国トップクラスの生産量となっており、正に農業王国茨城を支えています。

また、長い海岸線を有する立地にあり、鹿島灘海浜公園の周りの砂浜は、釣り人には人気のスポットとなっている他、サーフィンなどのマリンスポーツも盛んに行われています。

その外に、市の北端に位置する涸沼はラムサール条約登録の湿地帯で、シジミの採取と水鳥の観察ができる場所として有名となっており、特に涸沼産のシジミは全国的にも有名なブランド品として位置付けられています。



## 2 銚田市の魅力

### (1) 穏やかな気候

銚田市は太平洋の影響を受けた穏やかな気候で、夏季は涼しく、冬季は周辺に比べ雪が積もることが少なく、暮らしやすい気候と言えます。

### (2) 鹿島灘

鹿島灘はサーフィン愛好家によく知られた全国屈指のサーフスポットであり、夏には海水浴、1年を通じてイシモチ・ヒラメの釣りも楽しむことができます。

### (3) 食と農の先進地

メロンをはじめ、様々な農産物の生産が盛んで、全国トップクラスの農業生産額を誇っています。その為、市内は新鮮で美味しい農産物で溢れています。

### (4) 先進的なデジタル教育

銚田市内の全小中学校の児童生徒に1人1台のノートパソコンを整備し、デジタル社会を見据えたICT(情報通信技術)への環境順応に注力しています。

### (5) 鹿島アントラーズ・茨城セイバーズのホームタウン

銚田市は鹿島アントラーズのホームタウンであり、学校ではアントラーズのコーチや栄養士による特別授業を行う事もあり、現役選手と交流する機会もあります。また、アメリカンフットボール茨城セイバーズのホームタウンでもあります。

## 3 銚田市の課題

### (1) 時勢による課題

3年以上続いたコロナ禍の影響による、ニューノーマル(新しい生活様式・常体)が注目を集めています。ソーシャルディスタンスや各種店舗や窓口のオンライン化、会社に出社する機会を減らすリモートワークなど、様々な新常識がここ数年で我々の生活に根付いてきました。しかし、都市部から地方への人口の流出といった事態はそれ程顕著ではなく、首都圏への一極集中の状況に変化がみられない状況です。

さらに、このような社会にあつて、多様化する生活のあり方を許容していくシステムの構築がもとめられるとともに、教育や就労分野の選択肢だけでなく、余暇時間を過ごす文化・芸術・スポーツに加え、日常生活を過ごす場となる生活環境、交通手段、そして人々の交流の場など、多様な分野で複数の選択肢を提供することができるまちづくりが望まれます。

## (2) 市特有の課題

### (1) 人口・産業

農林水産省のHPで公開している統計情報の銚田市詳細データによると、銚田市の主要産業である第1次産業の就業人口は5,191人(農業5,151人/漁業40人)で、国勢調査による平成27年時点の銚田市統計データの7,949人から34.6%減少しています。これは、銚田市全体の人口減少や、労働人口総数の減少だけの要因ではなく、第1次産業に従事している人間の高年齢化が進んでいる事と、若い世代の第1次産業への新規就労数が少ないことが大きな要因と考えられます。

市内に主たる企業が少ない銚田市においては、農業という主要産業の衰退を食い止めることは急務であり、若年層へ銚田市の農業の魅力を伝え、新たな価値観を構築し、銚田市での第一次産業への就業者数を増やすための施策が必要になります。

### (2) 交通

銚田市と市外、県外、海外とのアクセスの向上を図り、交流を盛んにすることによって、より活気ある銚田市の実現を目指す必要があります。

#### ア) 高速道路

東関東自動車道の銚田インターチェンジの完成によって、水戸方面からのアクセスは向上しました。また、令和8年度中には全線の整備が完了する予定であり、それが整備完了以降は、東京・千葉方面からのアクセスが大幅に向上し、人の流れも物流も加速すると考えられます。

#### イ) 幹線道路

銚田市の海岸線沿いは国道51号が南北に貫き、南部には土浦方面へ続く国道354号が通っています。更に、市街地を周回する都市計画道路の整備も進んでいます。

#### ウ) 鉄道

市内には、水戸駅と鹿島神宮駅間を結ぶ鹿島臨海鉄道の駅が6ヶ所あり、水戸市や鹿嶋市方面からのアクセスは比較的良好と言えますが、内陸方面については、2007年に石岡方面とを結ぶ鹿島鉄道線が廃止になってからは、バス路線の確保が課題となっています。

#### エ) 茨城空港

茨城空港が開港したことにより九州・関西・北海道方面からのアクセスが大幅に向上し、全国から県内への観光客は増加しているところです。また、国際線の就航によりアジアからのインバウンドの増加も見込まれます。さらに、東関東自動車道が全線開通することで成田空港からのアクセスも向上しアジア以外のインバウンドも見込まれます。

## 第1章 鹿島灘海浜公園の背景

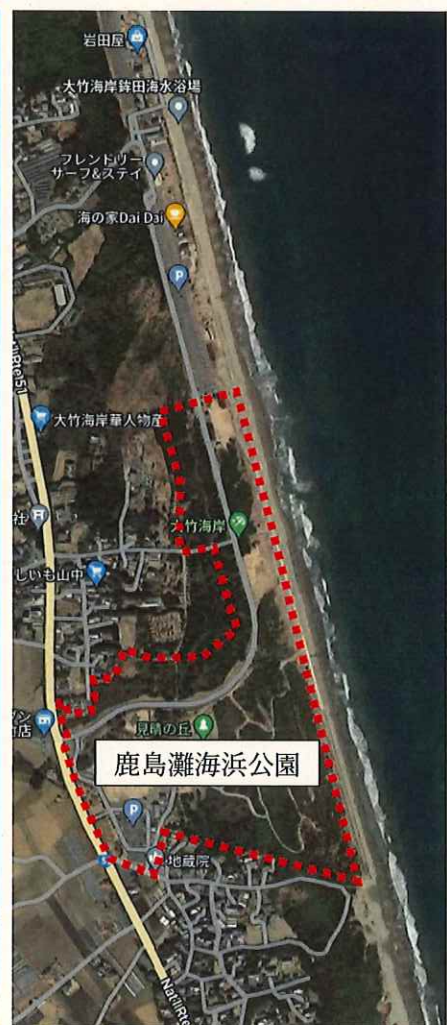
### 1 課題・目的

銚田市の太平洋沿岸に位置する鹿島灘海浜公園は、自然豊かで、広大な敷地や海に面した美しい景観を誇っています。その恵まれたロケーションや静かな周辺環境によって、その魅力や集客能力において大きなポテンシャルを持っているため、当該公園は茨城県における重要な観光地として、県民・市民の憩いの場となっています。一方、集客能力においては、そのポテンシャルを十分に活かされているとは言えない状況にあります。

そのため鹿島灘海浜公園を、銚田市にとどまらず茨城県の観光や地域交流の一大拠点として整備するために、コンセプト及び基本方針や導入機能等を、国や県、関係者と連携しながら立案し、地域の継続的な発展に寄与する事が必要になります。



鹿島灘海浜公園位置図



周辺拡大図

## 2 鹿島灘海浜公園の現状

### (1) 公園の位置付け

鹿島灘海浜公園は、平成 12 年に都市公園として整備され開園しました。

太平洋に面する豊かな自然環境を活かして、鹿行地域の健康づくりや、運動・レクリエーション活動の拠点、リラクゼーションの場として利用されています。また、直近の大竹海岸はサーファーや家族連れに人気の高い遠浅のビーチであり、夏季を中心に賑わいをみせています。

公園の前面には水戸市と千葉県を結ぶ国道 51 号が走り、大洗町や鹿嶋市などの隣接市町だけでなく、成田市や千葉市などの県外都市とのアクセスが良好です。

### (2) 公園規模

国道 51 号に面した『台地部』として農産物直売店やレストラン、24 時間利用可能なトイレなどが並ぶエリアと、『海浜部』としてウッドデッキが連なる海岸沿いのエリアからなる鹿島灘海浜公園は、現在開園している面積で 20.6ha（東京ドーム約 4.4 個分）となっています。

これは、県内の都市公園としては 10 位以内に入る規模であり、鹿行地域の中では最大規模の都市公園となります。

### (3) 特徴

公園としての特徴としては海岸線沿いの立地が挙げられます。延長約 3km の砂浜と松林の海岸線を有し、雄大な景色や海の香りを感じられる広々とした公園です。全長約 1km のボードウォークや海を一望できる見晴らしの丘等、見栄えの良いスポットが多く、ミュージックビデオやコマーシャルの撮影場所としても使われています。

また、台地部には、24 時間利用可能なトイレをはじめ、農産物直売所やレストランがあり、広大な芝生公園や遊具広場、ドッグラン等を完備しており、駐車場も広く、普通車で約 160 台、大型車も約 10 台が駐車可能です。

これだけの規模の施設が揃った公園にもかかわらず、駐車場利用も園内への入場も無料であるため、気軽に立ち寄れる公園として近隣住民に親しまれています。



ミュージックビデオ等のロケ地としても利用される

## 第2章

## 鹿島灘海浜公園の拠点化整備における経緯及び関連計画

### 1 経緯

平成12年3月31日に開園した鹿島灘海浜公園は、かねてより集客力について、その高いポテンシャルを十分に発揮できていない状況を改善しようという試みはありましたが、開園から22年を経過して、老朽化した施設が目立ち始め、維持管理費用も年々増大している現状の中で、茨城県により「海浜部」の活性化を検討することとされており、「台地部」については指定管理者である鉾田市によって、拠点化整備計画を始動させることとなりました。



## 2 関連計画

鹿島灘海浜公園拠点化の基本構想を検討するため、市の上位・関連計画における位置づけを整理します。

### (1) 第2次銚田市総合計画（抜粋）

地域の個性を形成するゾーンの配置では、「健康交流ゾーン」として、鹿島灘海浜公園は、健康づくりの拠点としての充実を図るとともに、多世代交流の場として活用となっており、「海洋レクリエーションゾーン」として、鹿島灘海浜公園の着実な整備とともに、海水浴場や釣り場というマリンスポーツに資する施設整備を進め、環境に配慮した親自然型レクリエーション機能の充実を図っています。

### (2) 銚田市都市計画マスタープラン（抜粋）

基本目標では、「市民の需要と観光交流拠点としての公園・緑地整備」及び「人が集い、にぎわいを創造する空間を演出する仕掛けづくり」となっております。

また、基本方針では、広域公園として、茨城県により鹿島灘海浜公園の整備が進んでいます。市外からの来訪者にも対応できるよう、市の観光及び情報発信拠点として、周知活動やランドマーク施設の検討も含め、利用促進に努めるとなっております。

#### ◆鹿島灘海浜公園の概要

所在地：銚田市大竹 計画面積：76.2ha（開園面積：20.6ha）  
都市計画：都市計画区域・都市計画公園



銚田市都市計画図 2022年12月時点

都市公園区域全体範囲

### 第3章 拠点化事業のコンセプト及び導入機能

#### 1 基本的な考え方

鹿島灘海浜公園を実際に利用している来園者へのニーズ調査を行った結果を踏まえ、整備の方向性の検討やコンセプトの立案及び基本方針の検討をしますが、同時に、今回の拠点化事業の目的が、これまで以上の集客を見込むことと、現在の公園利用者が求める施設を目指すこととは、整備の方向性にずれが生じる事も理解する必要があります。

アンケートからは、現在、日常的に利用している来園者は、広大で自然豊かな公園を混雑なく広々と使える今の公園に対する満足度が高い状況がみられる結果でした。一方、賑わいを演出したり、観光客を多く呼びこむ施設整備を望む意見も存在します。

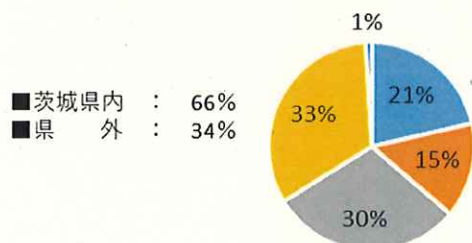
意図的に静かな空間や、気軽に利用できる公園の雰囲気随所に残し、ゆとりを持った計画とすることも重要である反面、地元住民と市外からの来園者との交流を生むことで、観光や地域交流の一大拠点につながる施設として整備していきます。



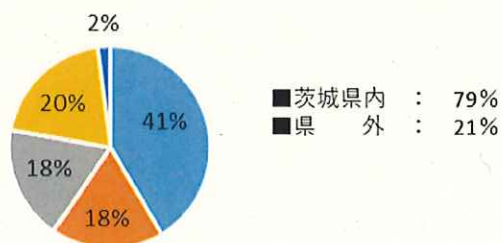
鹿島灘海浜公園を観光・地域交流の拠点として活性化させるためには、市内や鹿嶋市などの近隣地域からの来園者に対する来園意欲を維持しつつ、つくば市や守谷市などの県南地域の人口密集圏及び、他県や外国からといった遠方からの集客を増やす必要があります、そのための施設整備を行うことが重要と考えられます。

公園利用者アンケート結果

来園者住所（エリア別）



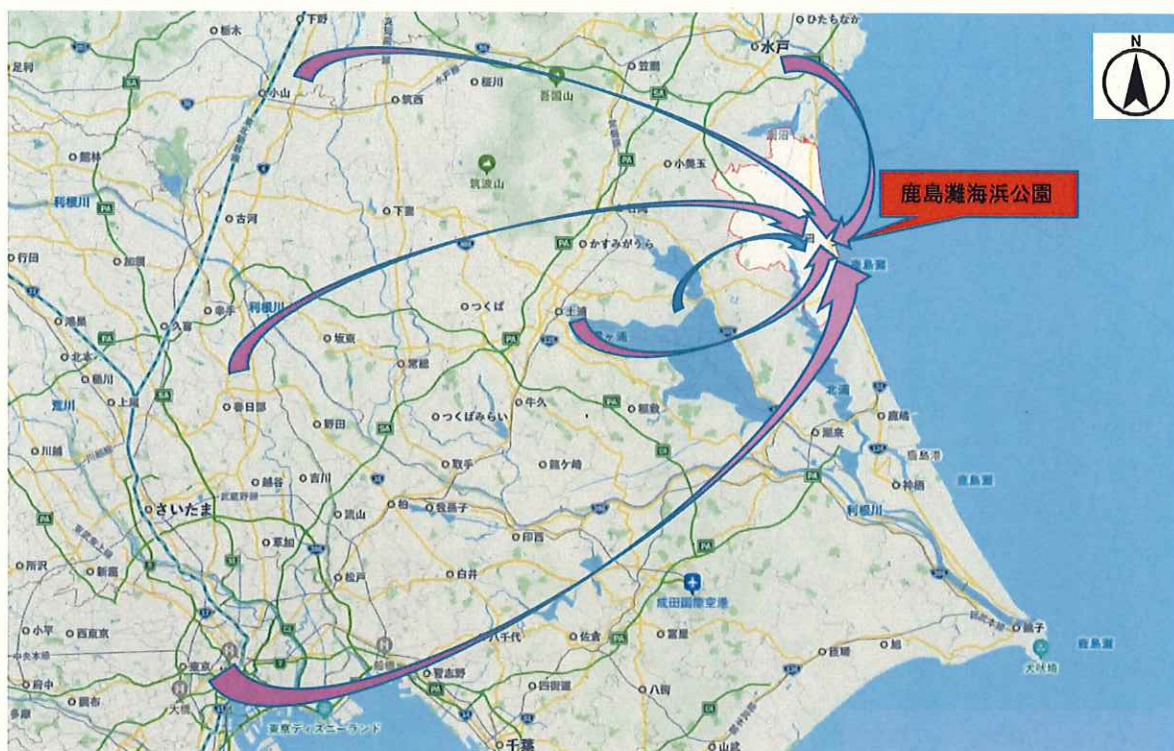
来園者住所（エリア別）



■ 市内 ■ 隣接市町村 ■ その他県内 ■ 関東地方 ■ その他県内

休日/来園者居住地域

平日/来園者居住地域



公園利用者ニーズ調査や会議での意見などで多かったものは、「農産物直売所・飲食店の充実」ですが、それだけでは集客の増に大きくは繋がらず、「道の駅」「海が見渡せる建物」「広い花畑」等の特別な施設を整備することにより、市外や県外からの集客力強化に繋げることも必要であるとの意見もあります。



現在の産直売場



現在のレストラン

## 2 コンセプト

### (1) 考えるべき2つの柱

鹿島灘海浜公園を観光・地域交流の拠点とするためには、まず遠方からの来園者を増やすための施策を考える必要があります。誘客のための施策としては、明確に他の公園と差別化された、『そこにしかない』『そこでしか感じられない』『そこでしかあじわえない』魅力や特別感のあるスポットにする必要があります。

現在も、海岸沿いのロケーションという素晴らしい大きなポテンシャルを持っていますが、それを十分に活かしきれていない現状です。『海岸沿いにある公園』という、特別感や高揚感を今以上に演出するためには、国道からの導入部で「来園者の心をつかむ」「雰囲気を感じてもらえる」ような仕掛けが必要となります。公園の入り口に入って、目の前の開けた景色にワクワクする期待感の演出が重要となり、そのためには鹿島灘海浜公園としての特別な『世界観』の演出が不可欠となります。

1つ目としては、現在国道沿いに大きな駐車場を有し、24時間利用可能なトイレを整備している本公園は、全国に1200以上点在しブランド力が高い『道の駅』として再整備することに対し環境が整っている状況といえます。そのため、海沿いの公園を活かした道の駅をめざし、知名度アップ、集客力アップのための施設にすることが重要となります。

2つ目としては、公園の魅力度を更に上げるために、銚田市の主要産業である『農業・野菜』をテーマとした、『地域特性を活かした公園づくり』をすることが重要です。その特徴を前面に押出すことによって公園の魅力度が増し、農業王国銚田市のブランド力強化にもつながります。

### (2) 目指すべき方向

先の2つの柱を基本に考えると、鹿島灘海浜公園の『道の駅化』という1本目の柱と、『地域特性を活かした公園施設の魅了度アップ』という2本目の柱の両方をバランスよく構築した『海を臨む道の駅』といったコンセプトが浮かび上がってきます。

雄大な太平洋をはじめとした自然環境を守りながら、地場産業を発展させて未来へと続く、人々が賑わう、憩いの場としての公園整備を目指します。



### 3 今後考えるべき導入機能

#### コンセプトや利用者アンケートから導かれる必要機能

令和5年に開催された鹿島灘海浜公園拠点化推進会議での意見や、令和4年度に行われた公園利用者ニーズ調査での結果として多かったのが、飲食店や物販店の拡充や、子供用の遊具の充実、道の駅化といった内容であり、前述のコンセプトを加味しながら以下の導入機能や施設等を今後検討する必要があります。

- 1) 台地部から海が感じられやすくする施設  
(台地部から海が見えるように、波の音、潮の香が感じられるようにする)
- 2) 道の駅化に伴う施設  
(休憩機能、情報発信機能、地域連携機能の再整備)
- 3) 飲食店、物販店の拡充
- 4) 農業をテーマとした魅力アップ
- 5) 遊具やアスレチック等の拡充
- 6) イベント等を行いやすくするイベントゾーン
- 7) 駐車場の拡充による集客力アップ

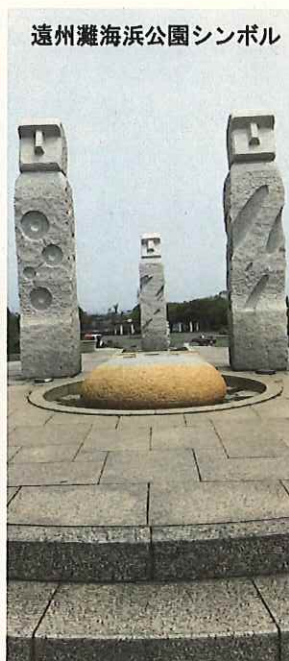
また、国道からの導入の動機づけや来園記念の写真撮影スポットとしてのシンボリックな看板やオブジェ等の設置も検討する必要があります。



ひたち海浜公園メインゲート



お台場海浜公園 自由の女神



遠州灘海浜公園シンボル



宜野湾海浜公園シンボル

※道の駅として整備する場合は駐車場や休憩施設・トイレや情報施設等は道路管理者による整備となり、一部施設を公園敷地外に整備する必要があります。

